

# あいち農産物生産流通レポート

平成29年12月号

	ページ
◎ 情報サロン ・ あいちの農林水産フェアを開催しました (食育消費流通課)	1
◎ 地域トピックス ・ 花の魅力を来場者にPR! ～あいち花フェスタin東三河 プレステージ開催～ (東三河農林水産事務所)	2
◎ 東日本情報 ・ 年末年始にむけ正確な産地情報の発信を (東京事務所)	3
◎ フラワーページ ・ バラ切花生産100周年を記念したフェア 「Ota Rose Party」が開催 (東京事務所)	5
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) 7 ・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し 8	
◎ 花き ・ 切り花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	20

※ 今月、「西日本情報」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## あいちの農林水産フェアを開催しました

食育消費流通課

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月8日（水）から13日（月）まで名古屋市中区栄の三越で開催し、6日間で23,000人余に会場いただきました。

### 1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

47の企業・団体が出展し、れんこんやぎんなんなどの旬の農産物を始め、一色産うなぎの鰻井、抹茶を使ったお菓子など、“あいち産”にこだわった県産品を数多く紹介・販売しました。

また、イトインコーナーでは、西三河南部地域の豊かな食材や、この地域で培われた調味料を利用したメニューを提供し、地産地消を体感していただきました。



あいち産にこだわった産品をPR

### 2 楽しく学べる主催者企画

日替わりイベントでは、ぬか漬け作りやバター作り、マイ箸作りなどの体験企画のほか、ふるまい餅、ベジデコサラダの制作実演など、いずれの企画も好評でした。

また、大学生が考案したあいちの野菜を使ったスープの配布などを実施し、会場内には活気があふれていました。



イトインコーナー

今回の農林水産フェアは、会場を名古屋栄三越に移してから2回目の開催となりましたが、毎年このフェアを楽しみに来てくださるリピーターの方が多く見受けられました。

当フェアは、生産者と消費者が直に触れあい、より結びつきを強める場であるとともに、本県産の農林水産物の良さを知っていただくための絶好の機会となっています。来場者アンケートでは、「来年もフェアに来場したい」との回答が97%となるなど、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



ベジデコサラダの制作実演

## 花の魅力を来場者にPR！ ～あいち花フェスタ in 東三河 プレステージ開催～

東三河農林水産事務所

「あいち花フェスタ」は、全国一の花き産出額を誇る「花の王国あいち」として、花に親しみ、花のある暮らしを提案する県民参加型のイベントで、今年度は国内最大の花の産地である東三河地域で開催します。

「あいち花フェスタ in 東三河」メインステージを広くPRするために、11月4日、5日に、「第16回フラワーDream（フラワーDream実行委員会主催）」と連携して、プレステージを開催しました。

今後は、平成30年2月9日（金）から12日（月・休）まで、田原文化会館・田原市総合体育館で開催されるメインステージに向け、更なる周知と開催準備を進めます。

### 【あいち花フェスタ in 東三河 プレステージの概要】

#### 1 期日

平成29年11月4日（土）、5日（日）

#### 2 場所

ほの国百貨店9階「第16回フラワーDream」会場内（豊橋市）ほか

#### 3 主な内容：

##### (1)メインステージのPR活動

PRブースで、来場者にチラシと花の種子を配布し、翌年2月に開催する「あいち花フェスタ in 東三河メインステージ」（田原市）を周知しました。また、特設ステージの花の装飾を行いました。

##### (2)モニュメントの展示（10月28日から11月5日まで展示）

豊橋市総合動植物公園で人気の高いサーバルキャットのモニュメントを、ほの国百貨店1階で展示しました。親子連れが楽しむ写真スポットとなりました。

##### (3)花の装飾展示（11月1日から11月5日まで展示）

豊橋駅改札前や管内4市役所等において、「あいち花フェスタ in 東三河」をPRする花の装飾展示を行い、通行人や来庁者の目を楽しませました。

#### 4 参考事項

フラワーDreamでは、東三河産の花きの展示、カップフラワー制作体験及び展示即売会等が行われ、来場者に花の魅力を伝えました。



あいち花フェスタ in 東三河  
メインステージPRブース



あいち花フェスタ in 東三河  
モニュメント



フラワーDreamでの  
東三河産花きの展示

# 年末年始にむけ正確な産地情報の発信を

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

11月7日（火）、東京都銀座のコートヤード・マリオット銀座東武ホテルにおいて、「平成29年度産秋冬野菜京浜地区販売会議」が開催されました。これから本格化する愛知県の秋冬野菜販売について、京浜市場愛知県野菜連絡会の会員市場各社、東三河管内3JA、JAあいち経済連による情勢報告、販売対策などが検討されましたので、それらの状況を踏まえ現状を紹介します。

## 1 10月までは市場滞荷の懸念

9月は天候が安定し、計画的な作付作業が行われ、初期生育が進んだことにより、多くの品目で10月上旬までは例年以上に順調な生育となりました。市場においても、潤沢な入荷が続き、既に入荷が本格化していたはくさい、だいこん等では、売り切れなかった荷が市場に滞る「滞荷」が発生しました。ここ数年続いていた価格高は崩れ、9月の終わりから10月中旬にかけての野菜平均価格は200円を切り、数年ぶりの安値推移となりました（図1）。



滞荷して積まれたままの入荷物  
(10月4日撮影)

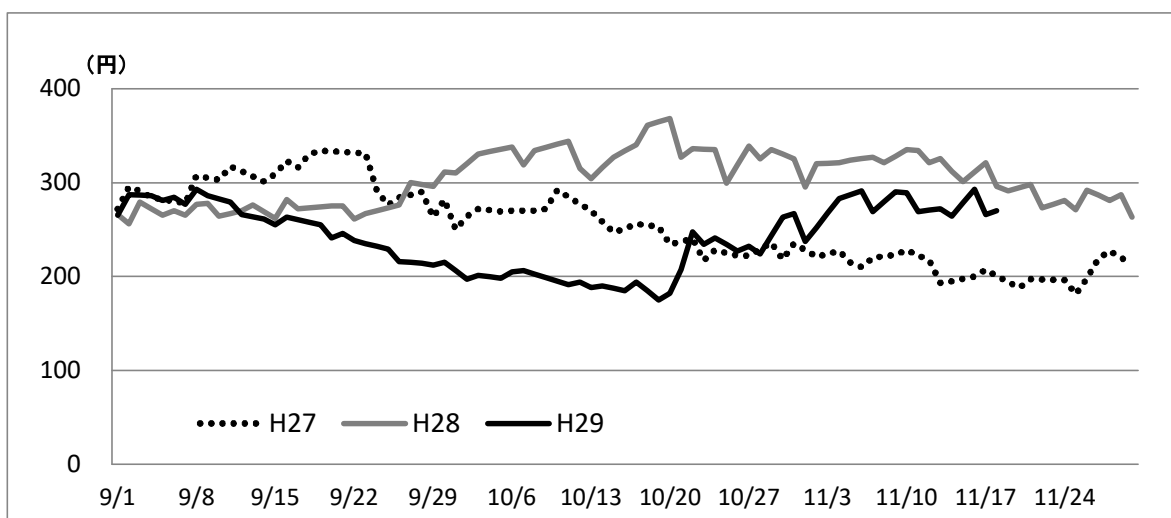


図1 野菜平均価格の推移

## 2 日照不足と台風による情勢変化

しかし、10月上旬から続いた曇雨天による日照不足、10月中下旬の台風21号と22号が状況を一転させました。塩害や根傷みなどの被害によって入荷減や品質低下が起り、それまで供給過剰と見られていた10、11月の入荷が不安定なものとなりました。品薄感やそれに伴う数量確保の動きにより価格も押し上げられました。

また、主な産地では、トマトやミニトマトなどの施設品目において不着果や生育遅延、着色不良などが、キャベツやレタスなどの露地品目において萎れや生育不良(根傷み)、作業遅延などが発生しており、今後これらの悪影響が現れると見込まれています。

## 3 年末から年明けの入荷への懸念

このような情勢で市場が懸念している点は、年末以降の入荷量や品質についてです。京浜市場では既に入荷が危ぶまれている品目も少なくありません。

愛知県が主要産地となる品目としては、根傷みによって生育(肥大)の遅れているキャベツ、台風で倒れたブロッコリー、日照不足により着花不良が発生したトマトやミニトマトなどが挙げられます。



秋冬野菜京浜地区販売会議の様子

## 4 正確な情報発信と輸入傾倒の回避

現在、市場では産地の正確な情報を欲しています。台風から1か月半が経過し産地がどこまで回復し、どれだけの出荷を見込んでいるのか、または出せないのか。出荷物がなくてもないなりの情報が必要となりますが、発信には注意が必要となります。

「ない」という言葉を主要産地が声高に伝えれば、市場の雰囲気は当然変わります。その結果、輸入物へ切り換える業者、増やす業者も多くなります。市場の話によれば、「必要以上の不安は愛知産の売場を荒らすことになりかねない。回復したときに売場が輸入物に占められ行き場をなくさないためにも、正確な情報を必要な相手に届ける努力が重要となる。」とのことでした。

京浜地区では、愛知県に期待をしている市場が多いことも事実です。11月中下旬には低温が続くなど、回復の難しい気象条件ではありますが、今後の入荷増に向けて愛知県の底力を期待したいと思います。

## バラ切花生産 100 周年を記念したフェア「Ota Rose Party」が開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成 29 年 11 月 17 日（金）に、大田市場花き棟の仲卸通りで、バラのフェア「Ota Rose Party」（主催：株式会社大田花き）が開催されましたので、概要を報告します。

### 1 13 の特設ブースでバラ切花を販売

日本におけるバラ切花の営利栽培は、1917 年（大正 6 年）に大阪で行われたアメリカ式温室栽培がその始まりと言われており、本年で 100 周年を迎えます。「Ota Rose Party」はこれを記念して実施されたイベントで、仲卸業者と産地、生産者が協力して、13 の特設ブースで様々なバラ切花の販売がされました。

販売するバラ切花には、100 周年を記念したタグを付けて販売されたほか、各ブースでバラを購入してシールを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーが実施され、多くの買参人で賑わいました。

### 2 JA ひまわりバラ部会がブース出展

特設ブースでは、バラ主産県の静岡県や栃木県、山形県等の産地や生産者が出展しており、本県からは JA ひまわりのバラ部会が出展しました。ブースでは、クリスマス装飾を意識したアレンジメント等が展示されたほか、JA ひまわりで生産する様々な品種のバラ切花が販売されました。

部会員の方によると「JA ひまわりのオリジナル品種で緑色のスプレーバラ『コンキュサーレ』は特に人気があり、先に売り切れてしまった」とのことで、「コンキュサーレ」が買参人から高く評価されていることが伺われました。

大田市場では 11 月中下旬からクリスマス商材が多く入荷しており、切花ではクリスマス装飾に向けて濃い赤色のバラ等に引き合いが出てきます。需要期であるクリスマスを抑えたイベントとして、買参人を始め市場関係者にバラの魅力とその歴史を印象づけることができたのではないかと思います。



JA ひまわりブースの様子



展示されたアレンジメント





## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
28年実績	2,490	1,420 (57%)	509	516	茨城(40%) 熊本(2%)
29年見通し	2,300	1,200	540	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、茨城から入荷する。愛知は前年並作付面積だが、8月の台風や10月の悪天候の影響による肥大不足で不作傾向となっている。茨城もやや少ないが不作だった前年に比べると、入荷量は回復する見通し。品種はロータス系、金澄系が中心となる。                      入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>れんこんは他品目に比べて価格が安定しており、茨城では水田作からの転作により作付面積が増加傾向にある。                      一方、愛知では高齢化などにより作付面積は年々減少傾向にあるが、市場では県内産地に対する需要も強く、作付面積の維持と生産量の確保をお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
28年実績	9,969	508 (5%)	317	319	長野(42%) 茨城(24%) 福岡(10%)
29年見通し	9,500	—	330	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>サニーレタスの総入荷量は年々増加傾向にあり、福岡や兵庫、香川など西南暖地で作付面積が増加している。好天に恵まれた9月までの出荷量は前年を上回ったが、10月以降は日照不足、台風、低温の影響を受けており、今後は本県産を含め、年内入荷が少なくなる見込み。                      入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務需要のウェイトが高いことからシーズン契約や週間特注等の取引が年々増加傾向にある。より一層の安定入荷が期待されることから、生産量と高品質の維持をお願いしたい。                      品質に関しては、他産地の生産技術が向上しており、今までの安定出荷を維持しつつ、ボリューム感や色づけ等といった生産者間の品質差の是正に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	34,363	209	185	201	240	北海道 29%
	25年	35,377	216	186	213	239	愛知 26%
	26年	33,387	241	230	227	271	茨城 7%
	27年	36,624	218	186	216	243	長野 4%
	28年	35,204	237	235	238	234	兵庫 4%
	5ヵ年平均	34,991	224	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	32,600	238	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
土物類の北海道、葉菜類・果菜類の愛知が入荷の中心となる。10月中下旬の長雨と台風被害により、露地物を中心に入荷減が懸念される。また、根腐れや傷みの発生による品質低下も心配される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。							
だいこん	24年	1,965	82	71	87	95	千葉 42%
	25年	2,183	85	89	85	88	愛知 28%
	26年	2,247	63	57	58	79	静岡 11%
	27年	1,803	60	58	67	64	神奈川 8%
	28年	1,720	94	99	98	90	徳島 4%
	5ヵ年平均	1,984	76	74	78	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,600	103	100	100	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、愛知を中心に入荷する。10月後半の天候不順の影響で生育遅れが見られる。千葉などの関東産地では台風による塩害も発生している。今後の天候次第だが、例年に比べて入荷量は減少する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値の前年と比べてもかなり上回る見込み。							
にんじん	24年	2,072	106	95	109	115	愛知 82%
	25年	2,083	145	151	157	170	北海道 8%
	26年	2,114	92	92	87	103	岐阜 6%
	27年	1,957	105	103	103	112	長崎 1%
	28年	1,929	133	137	145	120	熊本 1%
	5ヵ年平均	2,031	116	115	120	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,600	136	130	130	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に入荷する。10月後半の天候不順の影響で根腐れが発生しており、生育不良や肥大不足による入荷減のほか、秀品の減少や下物の増加などの品質低下が予想される。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	136,938	244	209	241	281	千葉 19%
	25年	131,973	260	242	250	289	茨城 18%
	26年	137,555	241	195	238	290	北海道 14%
	27年	139,108	223	207	214	246	愛知 8%
	28年	132,314	272	266	265	284	神奈川 5%
	5ヵ年平均	135,578	248	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	127,000	270	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。本県産はキャベツ、トマト等が本格入荷する。10月の日照不足に2つの台風が追い打ちをかけ、不着果、生育不良など、年末から年始以降の影響が懸念される。  入荷量は前年をやや下回り、価格は高値となった前年並の見込み。</p>					
だいこん	24年	13,297	82	67	77	98	千葉 47%
	25年	13,801	85	81	80	92	神奈川 45%
	26年	14,661	57	46	50	75	徳島 4%
	27年	13,190	53	47	54	56	茨城 1%
	28年	13,111	90	88	91	92	
	5ヵ年平均	13,612	73	65	70	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	12,000	120	110	120	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。両県の沿岸地域では台風による塩害の影響が大きく、肥大が鈍りサイズはL中心と小ぶりに。入荷も伸び悩むと見込まれる。  入荷量は前年をかなり下回り、価格は続伸し前年を大幅に上回る見込み。</p>					
にんじん	24年	8,866	124	112	119	137	千葉 79%
	25年	8,551	156	148	144	175	埼玉 7%
	26年	9,786	94	85	90	107	茨城 4%
	27年	9,960	94	96	90	95	香川 4%
	28年	8,470	148	149	140	154	中国 2%
	5ヵ年平均	9,127	121	116	115	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,600	135	130	135	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に、埼玉、茨城などからも入荷する。台風等による収量減はあるものの生育良好だったこともあり入荷への影響は限定的か。ただし品質低下は散見される。  入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回るも、平年より高値となる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

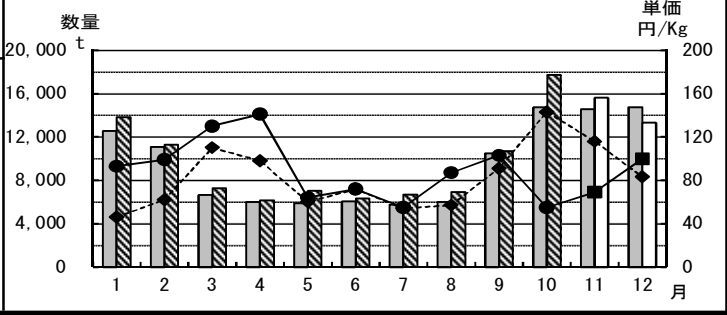
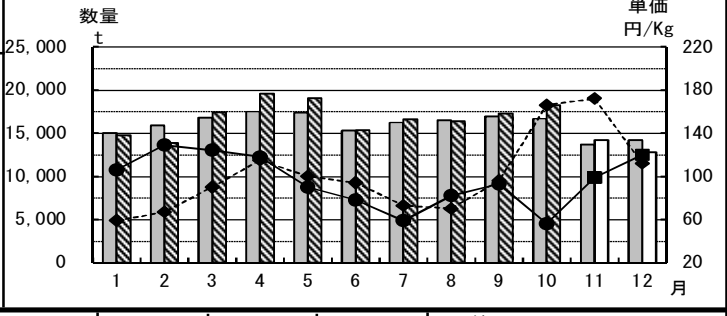
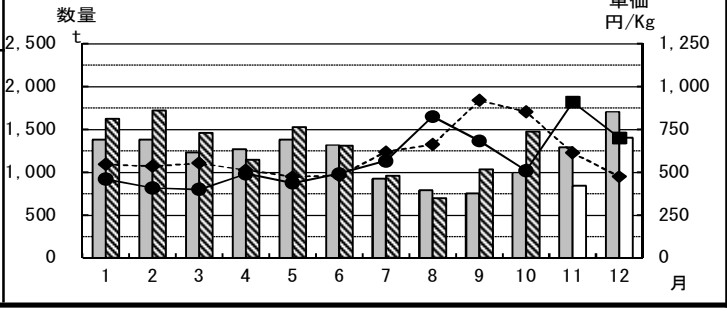
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	3,440	62	52	65	69	茨城	56%
	25年	3,374	77	70	76	88	愛知	32%
	26年	3,864	48	44	46	56	兵庫	4%
	27年	3,179	48	42	47	56	宮崎	3%
	28年	3,231	101	98	97	109	岐阜	3%
	5ヵ年平均	3,418	67	61	66	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	3,000	110	100	110	120		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>茨城、愛知を中心に入荷する。10月の長雨と台風の影響が大きく、両産地とも生育状況は良くない。愛知は台風被害により優品の割合が増加しており、価格の上がりにくい品質となっている。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値の前年と比べてもかなり上回る見込み。</p>							
キヤベツ	24年	3,916	70	53	76	84	愛知	84%
	25年	3,423	142	130	135	161	茨城	11%
	26年	3,555	75	59	78	87	兵庫	3%
	27年	3,488	53	61	54	49	滋賀	1%
	28年	3,449	104	105	108	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	5ヵ年平均	3,566	88	81	90	96		
	29年見通し	3,300	100	100	100	100		
ツ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は長雨と台風で根張りが悪く、生育に遅れが見られる。年内は入荷が不安定で、販売情勢が読みにくい状況となっている。入荷物は小玉傾向となる見通し。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	24年	265	625	658	724	567	愛知	70%
	25年	284	560	576	553	584	茨城	8%
	26年	317	525	396	563	702	群馬	8%
	27年	277	478	450	507	522	徳島	6%
	28年	354	472	484	507	471	福岡	4%
	5ヵ年平均	299	528	507	566	568	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	200	900	900	900	900		
そう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。露地物は台風の影響で入荷量が不足する見通し。代替として九州や関東産地のハウス物がかかり入荷されることも予想される。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	14,975	51	40	52	59	茨城 96%
	25年	15,181	69	61	67	77	群馬 2%
	26年	14,618	34	32	33	38	兵庫 1%
	27年	13,709	33	31	32	35	
	28年	14,745	83	77	79	93	
	5ヵ年平均	14,646	54	49	53	61	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	13,300	100	90	100	110	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心とした入荷となる。茨城は曇雨天と台風の影響により根張りが悪く、玉肥大が鈍いことから小玉傾向。11月も気温の低い日もあり、最終的には量が出るものの年内の回復は厳しいと見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
キャベツ	24年	13,729	79	59	83	97	愛知 56%
	25年	12,158	140	130	136	152	千葉 25%
	26年	12,921	77	58	80	94	茨城 10%
	27年	14,171	56	62	56	50	神奈川 7%
	28年	14,178	112	109	114	114	東京 1%
	5ヵ年平均	13,431	92	83	93	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	12,800	120	100	130	130	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に、千葉などの関東産地から入荷する。千葉は台風による塩害の影響が大きく入荷量は減少。本県も根傷みによる生育不良、生育遅れが懸念される。気温が低い日もあり回復しきれず小玉傾向か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
ほうれんそう	24年	1,372	637	593	650	654	群馬 44%
	25年	1,479	559	535	533	606	茨城 21%
	26年	1,735	495	366	502	656	千葉 13%
	27年	1,642	445	426	472	440	埼玉 12%
	28年	1,703	473	480	482	459	栃木 7%
	5ヵ年平均	1,586	516	474	523	559	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,400	700	700	700	700	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、茨城、千葉、埼玉からの入荷が中心となる。10月の天候不順と台風により作柄は不良。緩やかに回復しているが今後の天候次第のところもあり、年末の需要に間に合わず高値が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	1,316	357	316	350	407	静岡 18%
	25年	1,159	385	362	354	441	長野 15%
	26年	1,231	380	321	372	445	愛知 11%
	27年	1,259	370	370	354	395	群馬 11%
	28年	1,196	408	398	395	433	大分 10%
	5ヵ年平均	1,232	379	353	365	424	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,200	400	400	350	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、長野、愛知などから入荷する。白ねぎは静岡、大分が中心。愛知の小ねぎは少ない見通し。台風で葉の折れや曲がりが多発しており、例年の主要産地以外からの入荷も増えると思われる。 入荷量及び価格は、ともに前年並となる見通し。</p>					
し	24年	1,583	388	297	431	408	兵庫 46%
	25年	1,630	318	289	289	368	愛知 14%
	26年	1,749	285	170	298	397	熊本 12%
	27年	1,871	205	182	212	228	静岡 12%
	28年	1,802	235	272	230	215	長崎 6%
	5ヵ年平均	1,727	282	240	288	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,500	350	300	300	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に、愛知や九州産地などから入荷する。10月後半の長雨と台風の影響を受けて、12月中旬から年末の入荷は少なくなる見通し。また根張りも悪く、入荷物は小玉傾向となる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	24年	1,021	512	502	512	533	愛知 47%
	25年	1,165	369	331	337	484	宮崎 20%
	26年	1,026	475	333	360	316	鹿児島 19%
	27年	994	490	534	419	530	高知 12%
	28年	1,031	446	440	433	466	佐賀 1%
	5ヵ年平均	1,047	456	425	410	466	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	990	403	400	360	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、宮崎、鹿児島、高知が中心。生育遅れや着花不良がやや見られるが、他品目に比べると作柄は順調。11月上旬時点では高値推移だが、12月に入ると入荷量の回復が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	6,787	299	274	285	333	千葉 24%
	25年	6,717	297	281	270	337	埼玉 18%
	26年	6,982	292	256	290	325	群馬 13%
	27年	6,519	316	315	300	327	茨城 12%
	28年	6,159	363	364	347	377	栃木 8%
	5ヵ年平均	6,633	312	296	298	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	6,100	430	410	470		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、埼玉、群馬、茨城からの入荷が中心となる。主力の関東産は台風による倒伏や葉折れ等の被害あり。下等級品の発生が多いが出荷量は前年並を維持している。野菜全体の品薄感もあり高値が見込まれる。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
し	24年	6,643	396	289	445	437	静岡 30%
	25年	6,997	323	294	305	364	香川 15%
	26年	7,282	280	157	298	389	茨城 14%
	27年	8,135	201	186	207	208	兵庫 12%
	28年	8,575	233	266	224	212	長崎 9%
	5ヵ年平均	7,526	281	237	289	313	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,300	350	330	340	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川、茨城、兵庫からの入荷が中心となる。関東産は台風の影響により少ないまま終盤に入る。西南暖地も日照不足、11月の冷え込みもあり玉肥大が鈍く量を伸ばせていない。絶対量が不足したまま年末をむかえると見込まれる。入荷量は潤沢だった前年を大幅に下回り、価格は前年、平年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	24年	4,351	537	522	535	552	宮崎 38%
	25年	4,703	391	347	349	489	千葉 19%
	26年	4,249	498	371	528	601	高知 14%
	27年	4,260	522	556	447	561	埼玉 13%
	28年	4,490	464	461	449	483	群馬 8%
	5ヵ年平均	4,411	481	450	459	536	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,400	480	450	460	530	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、千葉、高知、埼玉からの入荷が中心となる。台風の影響はないものの、日照不足や低温の影響により作柄はやや不安定気味。遅れは徐々に回復しており、各産地とも入荷量を平年並に戻しつつある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	24年	348	420	408	422	444	愛知 51%
	25年	339	455	462	455	464	熊本 43%
	26年	312	444	427	441	486	高知 6%
	27年	367	417	398	423	430	
	28年	342	442	441	447	439	
	5ヵ年平均	341	435	427	437	452	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	340	450	450	450	450	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、熊本を中心に入荷する。愛知は千両、熊本は長なすが主体となる。天候不順の影響で11月の入荷状況はやや少ないが、台風などの大きな被害はなく12月には回復してくる見通し。 入荷量及び価格は、ともに前年並となる見込み。</p>						
ト	24年	823	418	416	429	419	熊本 46%
	25年	873	427	459	426	406	愛知 25%
	26年	962	360	345	348	389	三重 19%
	27年	1,044	285	236	280	360	岐阜 10%
	28年	815	541	681	483	460	
	5ヵ年平均	903	399	415	386	404	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	850	400	350	400	450	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心。熊本は10月の天候不順の影響で、12月中旬から年明けの入荷減が心配される。愛知も同様の傾向で、12月上旬までは潤沢だが中旬から1月にかけて端境期に入る可能性もある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ミニ	24年	322	703	715	702	672	愛知 50%
	25年	334	753	834	729	698	熊本 38%
	26年	363	620	594	614	665	和歌山 6%
	27年	422	603	423	574	831	宮崎 5%
	28年	333	917	1,021	850	900	
	5ヵ年平均	355	712	701	686	756	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	350	750	700	750	800	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知が入荷の中心となる。10月の天候不順の影響で、12月中旬以降の入荷は減少する見通し。クリスマス等の需要もある時期で引き合いは強まると思われる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回るが平年は上回る見込み。</p>						



東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	1,712	482	501	500	445	高知 65%
	25年	1,679	531	577	514	497	福岡 16%
	26年	1,625	535	485	518	580	熊本 9%
	27年	1,796	492	483	506	488	佐賀 4%
	28年	1,827	500	484	535	509	栃木 3%
	5カ年平均	1,728	507	506	515	503	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	500	500	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に、福岡、熊本などから入荷する。日照不足や低温等の影響で各産地とも樹勢低下や生育遅れが見られたが回復基調にある。台風の直接的な被害もないことから今後は前年並の入荷が見込まれる。入荷量及び価格は、ともに前年並となる見込み。</p>					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>高知を中心に、福岡、熊本などから入荷する。日照不足や低温等の影響で各産地とも樹勢低下や生育遅れが見られたが回復基調にある。台風の直接的な被害もないことから今後は前年並の入荷が見込まれる。入荷量及び価格は、ともに前年並となる見込み。</p>							
ト マ ト	24年	4,865	450	451	455	443	熊本 47%
	25年	4,540	481	505	483	456	愛知 16%
	26年	5,204	398	375	401	421	栃木 13%
	27年	5,533	332	287	332	385	千葉 7%
	28年	4,423	577	715	532	500	静岡 6%
	5カ年平均	4,913	441	455	435	438	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,400	450	430	440	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に、愛知、栃木などから入荷する。10月以降の日照不足や低温により不着果、肥大不足、着色遅れが目立ち出方は鈍い。回復はしているが、年末以降に不着果段に入り出荷量が落ちる産地も散見される。サイズはL、Mサイズ中心の産地多い。入荷量は前年並で、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>熊本を中心に、愛知、栃木などから入荷する。10月以降の日照不足や低温により不着果、肥大不足、着色遅れが目立ち出方は鈍い。回復はしているが、年末以降に不着果段に入り出荷量が落ちる産地も散見される。サイズはL、Mサイズ中心の産地多い。入荷量は前年並で、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	24年	1,454	693	715	700	666	熊本 37%
	25年	1,563	706	760	708	655	愛知 23%
	26年	1,598	609	573	607	649	宮崎 14%
	27年	1,763	573	435	557	769	千葉 9%
	28年	1,506	886	1,013	796	843	静岡 6%
	5カ年平均	1,577	689	689	669	717	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,450	750	700	750	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。10月の日照不足の影響が続き、入荷量が伸びてこない。12月も不着果段が収穫期を迎えることから、数量は増加しないことが見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回るも平年以上の見込み。</p>					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。10月の日照不足の影響が続き、入荷量が伸びてこない。12月も不着果段が収穫期を迎えることから、数量は増加しないことが見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回るも平年以上の見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	353	443	312	511	577	鹿児島 55%
	25年	416	450	442	468	518	宮崎 35%
	26年	428	461	377	476	630	高知 10%
	27年	384	505	393	542	593	
	28年	428	479	469	520	490	
	5ヵ年平均	402	468	402	502	561	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	430	470	450	460	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島、宮崎、高知から入荷する。10月の天候不順の影響で、12月上旬までの入荷は多くないが、中下旬は回復する見通し。前半は高値傾向だが、需要を考えると後半の販売環境は厳しくなるか。入荷量及び価格は、ともに前年並となる見込み。							
白菜	24年	2,849	89	89	92	84	北海道 73%
	25年	2,761	100	113	106	85	長崎 26%
	26年	3,043	92	93	93	90	
	27年	3,267	97	97	100	98	
	28年	2,572	188	190	191	184	
	5ヵ年平均	2,898	111	114	114	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,000	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、長崎からの入荷となる。前年は北海道の台風被害により入荷減の価格高となったが、本年は10月の天候不順で小玉傾向であるものの、概ね平年並の入荷量が見込まれる。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							
たまねぎ	24年	6,287	66	67	71	69	北海道 100%
	25年	5,249	112	123	125	133	
	26年	6,611	79	83	84	81	
	27年	7,105	66	67	68	68	
	28年	8,414	67	66	70	68	
	5ヵ年平均	6,733	76	79	81	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,200	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量を北海道から入荷する。北海道の貯蔵物は安定した入荷を見込む。潤沢な入荷が予想されるが、北海道では見通しの下方修正もあり、当初予測より入荷がやや少なくなる可能性もある。入荷量は多かった前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	1,353	459	305	526	591	宮崎 36%
	25年	1,530	458	426	464	489	茨城 30%
	26年	1,530	459	346	442	624	高知 18%
	27年	1,371	508	387	553	896	鹿児島 15%
	28年	1,662	479	442	494	510	
	5ヵ年平均	1,489	472	384	494	615	
	29年見通し	1,650	460	400	500	480	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。他品目同様に天候不順や台風の影響を受けたが、回復基調ある。11月下旬から入荷量が増えており、今後も潤沢な入荷が見込まれている。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	24年	9,217	94	92	93	98	北海道 80%
	25年	8,180	111	111	111	112	長崎 19%
	26年	8,861	95	94	93	97	
	27年	8,699	100	98	100	107	
	28年	7,451	189	186	190	191	
	5ヵ年平均	8,482	115	114	115	119	
	29年見通し	7,100	120	120	120	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。北海道は貯蔵作業が終わり、市況に応じた出荷に移る。両産地とも小玉傾向で入荷量は前年を下回ると予想されるが、台風被害のあった前年と比べ品薄感は弱い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	11,682	73	71	73	76	北海道 97%
	25年	9,963	129	125	132	132	中国 2%
	26年	11,033	86	85	87	89	
	27年	11,460	68	71	66	69	
	28年	11,441	75	74	74	76	
	5ヵ年平均	11,116	85	84	85	87	
	29年見通し	11,300	85	80	85	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は収穫作業が終了しており市況を見ながらの計画出荷となる。出荷の中心はL大、Lサイズとなる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	12,693	317	260	343	358	静岡 20%
	25年	11,803	332	298	353	350	愛知 18%
	26年	11,654	337	290	362	381	岐阜 11%
	27年	9,997	381	334	399	414	和歌山 10%
	28年	10,907	370	317	395	415	フィリピン 10%
	5ヵ年平均	11,411	346	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	9,100	410	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、愛知、岐阜などから入荷する。品目はみかんが中心となる。10月の天候不順による入荷減が予想されるほか、日照不足によるみかんの糖度低下、台風によるかきの傷果など品質面の問題も懸念される。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
み	24年	6,043	221	201	210	247	静岡 43%
	25年	6,144	228	216	234	232	愛知 32%
	26年	5,804	205	181	204	234	和歌山 20%
	27年	4,359	274	229	280	311	愛媛 2%
	28年	5,128	251	235	254	273	長崎 2%
	5ヵ年平均	5,495	233	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	4,000	280	—	—	—		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、愛知、和歌山を中心に入荷する。10月の長雨と台風の影響で、11月は着色不良と生育遅れが見られた。台風による傷果が増えており、12月入荷は少ない見通し。静岡の青島も少ないとの声が聞かれる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
い	24年	532	2,108	1,744	2,178	2,266	愛知 63%
	25年	524	1,806	1,358	1,775	2,272	熊本 22%
	26年	539	1,928	1,309	2,115	2,225	鹿児島 4%
	27年	603	1,548	1,314	1,511	1,776	三重 4%
	28年	473	1,985	1,527	2,078	2,257	岐阜 3%
	5ヵ年平均	534	1,864	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	600	1,800	—	—	—		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に、熊本などから入荷する。天候不順の影響か全体的に生育遅れが見られるが、12月に入ると各産地からの入荷量は増加してくると思われる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	57,991	342	294	357	369	愛媛 26%
	25年	55,770	354	326	372	362	和歌山 12%
	26年	54,751	368	316	381	397	長崎 10%
	27年	52,311	402	357	412	430	青森 8%
	28年	53,971	417	370	434	447	静岡 7%
	5ヵ年平均	54,959	376	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	52,000	410	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは「サンふじ」中心で仕上がりよく、不足感の無い入荷が見込まれる。柿は露地ものが概ね終了し、冷蔵及び袋掛けの「富有」中心の入荷となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高値となった前年並と見込まれる。</p>						
み	24年	35,940	253	243	251	260	愛媛 39%
	25年	35,413	249	246	249	251	和歌山 18%
	26年	33,133	234	211	394	251	長崎 16%
	27年	30,980	277	258	276	290	静岡 10%
	28年	33,332	290	288	294	288	熊本 8%
	5ヵ年平均	33,760	260	249	292	267	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	31,000	300	290	300	310	
か	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛媛、和歌山、長崎などから入荷する。上旬は早生品種、中旬から中生品種の出回りとなる。各産地とも例年より玉肥大は良くL・Mサイズ中心の入荷となるが、中生品種以降の出荷計画量は前年より少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>						
い	24年	2,213	2,016	1,821	1,949	2,167	栃木 49%
	25年	2,469	1,766	1,402	1,726	2,122	福岡 16%
	26年	2,667	1,946	1,451	1,970	2,287	茨城 10%
	27年	2,936	1,695	1,460	1,606	1,940	静岡 7%
	28年	2,445	2,092	1,704	2,025	2,359	佐賀 7%
	5ヵ年平均	2,546	1,893	1,556	1,846	2,168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,350	2,150	1,800	2,100	2,200	
ち	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木、福岡、茨城などから入荷する。栃木は日照不足や低温により若干の生育遅れがみられるものの大玉傾向であり、業務用の小玉が不足する懸念がある。福岡は現在の出荷ペースは遅いが12月中旬以降に入荷ピークを迎える見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回ると見込まれる。</p>						

# 切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	24年	2,749	60	
		25年	2,914	53	
		26年	2,818	61	
		27年	2,859	58	
		28年	2,872	59	
	5ヶ年平均	2,842	58		
	29年見通し	2,800	58		
概要	愛知、沖縄、三重などから入荷する。低温続きで咲足が鈍っており、前半は少なめで推移すると思われる。中旬以降増加するが、年末需要もあり、堅調な動きが見込まれる。				
小 ぎ	実績	24年	1,867	39	
		25年	2,449	29	
		26年	1,989	35	
		27年	2,427	32	
		28年	2,381	30	
	5ヶ年平均	2,223	33		
	29年見通し	2,400	33		
概要	沖縄を中心に愛知、奈良から入荷する。低温続きで内地産は咲渋り傾向であるが、沖縄は台風被害も少なく順調な生育状況。中旬以降順次増加する見通し。下旬には年末需要で堅調な動きが見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	1,291	42	
		25年	1,324	44	
		26年	1,280	48	
		27年	1,227	44	
		28年	1,258	42	
	5ヶ年平均	1,276	44		
	29年見通し	1,280	45		
概要	愛知を中心に長野、和歌山などから入荷する。今年は早くから気温が低く、じっくりと生育しているので、12月の品質は良い。また、業務中心に動きは活発で価格も安定した販売ができる。				
か す み	実績	24年	170	104	
		25年	154	105	
		26年	180	106	
		27年	249	68	
		28年	182	91	
	5ヶ年平均	187	93		
	29年見通し	180	95		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。11月の出荷は冷え込みでかなり少ない。12月のどこかで出荷が増える可能性もある。前半は業務中心の販売。一般需要は22日から。単価は数量次第で、前半はやや厳しい販売も想定される。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	24年	480	174	
		25年	419	185	
		26年	431	185	
		27年	418	185	
		28年	359	199	
	5ヶ年平均		421	185	
	29年見通し		420	185	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、宮崎、愛知、新潟から入荷。上旬より増加し、年末はある。LAは11月の出荷が10月の台風の影響で計画より少なく、12月上旬には増える見通しで年末は十分にある。鉄砲は生産減でやや少ない。22日からの年末商戦単価は前年より高い価格で動く見込み。</p>				
洋らん	実績	24年	681	95	
		25年	672	105	
		26年	693	100	
		27年	661	83	
		28年	643	94	
	5ヶ年平均		670	95	
	29年見通し		670	95	
概要	<p>高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知などの国内産や海外からの入荷となる。昨今の社会情勢からすれば致し方ないと思われるがここ最近、洋らん類は全体的に安値の状態が続いている。現状12月は順調な入荷となりそう。年末需要で活発な取引を期待したい。</p>				
ばら	実績	24年	897	79	
		25年	884	77	
		26年	707	100	
		27年	683	87	
		28年	794	74	
	5ヶ年平均		793	82	
	29年見通し		800	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。10月後半の2週続けての台風、低日照の影響からそろそろ回復する見込み。天気次第では前半から中盤にかけてそこそこの入荷が見込まれる。クリスマス需要も始まり、赤を中心に堅調な動きが予想される。</p>				
枝も	実績	24年	4,964	52	
		25年	5,154	57	
		26年	5,099	57	
		27年	4,423	55	
		28年	4,659	52	
	5ヶ年平均		4,860	55	
	29年見通し		4,800	55	
概要	<p>茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡、長野から年末花材が入荷する。南天の実は豊作で引き合いは弱め、逆に松は品薄傾向で引き合いは強い。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	24年	9,874	929	
		25年	11,165	839	
		26年	8,522	936	
		27年	7,249	1,072	
		28年	8,729	953	
	5ヶ年平均		9,108	936	
	29年見通し		8,000	1,000	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。愛知が中心となるが、原木の減少から各産地ともに生産量が減り、在庫が少なく注文中心の入荷予想で平均価格は上がる見込み。サイズは7～8号が中心で大鉢は少ない予想。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(67.5%)、2位鹿児島(15.0%)、3位三重(7.7%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	24年	17,871	438	
		25年	17,824	382	
		26年	13,693	350	
		27年	7,750	369	
		28年	14,034	437	
	5ヶ年平均		14,234	399	
	29年見通し		14,000	436	
概要	<p>生産量は前年より減少している。市場への入荷は天候による出荷の前倒しにより前々月や前月に比べて少なくなる見込み。入荷量の減少に伴い、価格面では安定すると予想。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(65.3%)、2位埼玉(23.6%)、3位茨城(7.8%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	24年	718,558	360	
		25年	670,680	417	
		26年	622,950	402	
		27年	574,269	412	
		28年	606,925	411	
	5ヶ年平均		638,676	399	
	29年見通し		600,000	413	
概要	<p>入荷量は前年並か。5号・6号鉢は上旬から中旬にかけてピークを迎える。価格も前年並に推移すると予想。後半になるつれ、良品が少なくなり入荷も落ち着く。全体を通して安定した価格が見込めると予想。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(27.2%)、2位長野(18.2%)、3位岐阜(10.6%)となっている。</p>				



単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	24年	134,328	2,473	
		25年	129,140	2,575	
		26年	125,977	2,319	
		27年	113,376	2,397	
		28年	106,582	2,427	
	5ヶ年平均	121,881	2,441		
	29年見通し	110,000	2,455		
概要	<p>入荷量は前年より増加か。前年は11月が厳しい相場だったため、本年は出荷を遅らせている。上旬は大きい商品や贈答用が動くタイミングなので出荷量を増やしてしっかり販売していきたい。本年は全体的に出来栄が良いので期待したい。 前年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（45.2%）、2位徳島（11.2%）、3位長野（7.5%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	24年	32,745	220	
		25年	39,366	193	
		26年	34,266	207	
		27年	25,394	197	
		28年	29,871	207	
	5ヶ年平均	32,328	205		
	29年見通し	29,000	210		
概要	<p>入荷量は前年並か。年末に近づくにつれ引き合いが強くなると思われるので、花固めの出荷は控えて咲いている状態での出荷を望む。 前年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（46.5%）、2位埼玉（40.5%）、3位愛知（5.7%）となっている。</p>				
パンジー	実績	24年	524,640	44	
		25年	573,244	47	
		26年	473,076	28	
		27年	403,892	42	
		28年	489,381	50	
	5ヶ年平均	492,847	42		
	29年見通し	500,000	48		
概要	<p>入荷量は前年より増加か。歩留まりが良いので出荷量が多いが、その分価格面は前年より低い見込み。日中の気温が15度を割り込むと動きは止まる。 前年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（35.2%）、2位奈良（21.7%）、3位三重（15.1%）となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.534  
平成29年12月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434